

8. 学生生活について (3)

(3) あなたが現在の学生にアドバイスをするとしたら、上記のような大学時代の学習や経験をどの程度すすめますか。

総合科学部

- ・何か一つでもいいので没頭できるものを見つけると良いと思う。それをとことんやる過程がその後の人生で必ず生きてくると思う。また将来について深く考える時間を取ることも大切である。毎日の予定をこなすことだけで頭が一杯の時こそ、立ち止まって深く考えることも必要だと思う。
- ・就職したら仕事に追われるので学生時代に勉強をする時間は貴重。色々と挑戦した方がいいし、思いも寄らない場面で役に立つ。大学でできた友達は同じような進路に進む子が多く、卒業後も交流が続くので大切にしたい。
- ・学生時代に勉強しかなかったので、サークル活動などで特技と交友関係を増やせばよかったと思う気持ちも少しある。しかし、小さい頃からなりたかった研究職に就けたのは勉強を頑張ったお陰なので、サークル活動などは少し勧めるに留める。
- ・講義中における質問があまりにも少なすぎる。世の中分からないことばかりです。今日プレゼンテーションの能力を向上させようと流行していますが、そのことより以前に、まともな文章を書ける、書くための思考力を高めることのほうが大事ではないかと思います。文章がきちんと書ければ、発言もしっかりしてきます。政治家から、企業関係者、マスコミ関係者きちんとプレゼンテーションできる人がどれだけいますか。問題をはぐらかすことにはたけていますが。
- ・社会人になるとなかなか本当に気の合う友人は作れないので、学生時代の友人との交流を大切にしてほしい。
- ・コミュニケーションやインターネットなどによ

ってもたらされる情報は膨大で、必要な情報と不要な情報を直に見極め、適正に整理し、端的に表現できるアウトプット力の向上がますます重要になっています。自分の考えをうまく相手に伝えられるよう、今しかできない友人、教員、社会の人たちとの交流を大切にしてください。

文学部

- ・自分の好きな科目にはとことん時間を費やすべき。授業には出席。
- ・時間は短く有限である。「バランス」という言葉を意識して学校生活を過ごしてほしい。交友関係などのプライベートももちろん大切である。学校での学びももちろん大切である。全てに意味があり価値がある。ただ、偏りがないように過ごしてほしい。どちらも取り組み方によっては自分の財産になる。しっかりと「バランス」を考え様々な財産を蓄えてほしい。全てをこなすには時間は短過ぎる。自分の中でしっかりと優先順位をつけて時間を割り振るとブレずに有意義な時間を過ごせるであろう。また、意味のない時間を過ごさないで欲しい。今日の前にあるものやこと、ひとに全身全霊で取り組んで欲しい。本気になれば時間は自ずと有意義なものになり将来の自分を助けるであろう。上述した通り、全てに意味があり価値がある。大学時代にしかできないこともそう。学びは机に向かったり本を読んだりすることだけではない。学内も学外も全てが学びだ。ただ、その機会は勝手に訪れない。自分からそのような機会をどんどん掴み取って欲しい。
- ・語学をやれば、何かしらの形で役に立つと思う。文学部内に留まらず様々な経験を積むことが、就職活動にも役立つと思う。
- ・学業にしっかり取り組むことはもちろんですが、就職したらまとまった時間がなかなかとりにくいので、時間がある大学時代に旅行やサークル

卒業生から後輩に伝えたいこと

活動、留学など、興味があることに取り組んだほうが良いと思います。やろうと思えば何でもできる最後のチャンスです。また、大学の友人は今でも連絡を取り合い、刺激を与えてくれるので、大学時代に仲のいい友人を見つけられたら良いと思います。

- ・日々の学習に力を入れること。

教育学部

- ・自分のできることは可能な限り参加することを勧めます。自分には無関係だと思っても、どこかでつながることも多いです。
- ・積極的に様々な活動に参加してみてください。
- ・特に交友関係は一生の宝です。何事にもチャレンジし、さまざまな思い出を作ってください。
- ・家庭の事情は様々なので一概には言えないが、できればアルバイトはほどほどにして、学びや遊びの時間に充てることをおすすめしたい。それと、自分は大学2年時は交際相手といっしょに過ごすことしか頭になく、全てが恋人優先になってしまっていたので、様々な機会を犠牲にしていたのではないかと今思うともったいなく思う。恋愛も学生生活を充実したものにしてもらえると思うが、その他のこと（友人、講義、課外活動）とのバランスをとることは非常に大切だと思う。時々立ち止まって考えることをおすすめしたい。
- ・自分がやってみたいと思うことなら、どんな活動にどの程度参加してもその後の人生にとってよい経験になると思います。何を経験するかよりもそこで誰と出会うかの方が大切だと思うので、人とかかわる場に参加してよい友人関係を築くことが1番大切だと思います。
- ・いろんな体験や経験をしてほしい。
- ・時間が多く許される機会に、学生の本分である学習をしないともったいなく思います。受けた授業、読んだ本は総合力となってその後の人生の血となり肉となるので、可能な限り授業を

多くとり、自分への「投資」をしてください。アルバイト、サークルや就活に明け暮れるための時間ではない、と肝に銘じて過ごしたら、自分の人生の限られた時間のコストパフォーマンス、タイムパフォーマンスの観点からも、有意義な学生生活になると思います。

- ・学生の時には面白く思わなかった講義も、社会人になってから興味が湧いてきて、ちゃんと講義を受けておけば良かったと必ず思うようになるので、できれば積極的に取り組んで欲しい。学問の持つ面白さは分かりにくい、興味がなくてもそこに面白さを見出す事が出来るようになれば、その力は社会に出てどんな仕事に就いても役に立つと思う。
- ・初めは幅広い交遊関係を築いてください。
- ・教員や図書館など利用できるものを利用できるように最大限利用すべき。社会人になるとそういったものにアクセスしづらい。
- ・いろんなところに実際に行ってみる。
- ・卒業後の進路を見据えて、主体的に学ぶ姿勢を大切にしてほしいと思います。大学時代は時間がたくさんあるので、その時間を受身になって過ごすのはとてももったいなく思います。社会に出るまでにどんな力をつけていきたいか、自分の強みを社会でどう生かしていきたいか、を4年間でしっかり考えて多くの人との関わりを大切にしていきたいと思います。
- ・人生の中で自由に時間が使いやすい時期だと思います。何に重きを置くかは人により異なるかと思いますが、時間を浪費することだけではないようにしてほしいです。時間を有限の財産と捉え「卒業後は実行が難しくなること」をリストアップして取り組まれるとよいかと思います。
- ・どのような活動をするにしろ、将来のビジョンを早めにもちつつ大学生活を送ることをすすめたい。
- ・周りの友人に合わせたりせず、自分から様々なグループに所属すべきだと思います。0から人

卒業生から後輩に伝えたいこと

間関係を構築する良い練習になると思います。

- ・とにかく友人関係を大切にしたいです。自分と同じ志をもつ人はもちろん、自分の知らない世界を知っている人とも積極的に関わってほしいです。そして、本をたくさん読みましょう。働き始めると中々落ち着いて本を読む時間がなくなりますから、どんどん読んで知識を自分のものにしてください。
- ・自由に使える時間がたくさんあるので自分の興味のあることを整理して実行していくことが大事。後悔しないようにいろいろな挑戦をしておくといいと思います。

法学部

- ・卒業論文の執筆が必須の学部生は、それに全力を注ぐこと。卒業論文が必須でない学部生は、指導教員に依頼し、卒業論文の執筆に協力してもらい、それに全力を注ぐこと。それ以外には、興味のあることはもちろん、ない（気がする）ことにもチャンスがあれば飛び込んでみる。以上を強くすすめる。
- ・私自身、在学中に出来たはずのことをしなかったことをとても後悔しているので、身の回りの人、制度、サービス他あらゆるものを利用して、様々な経験をしてほしいです。よって全ておすすめします。
- ・広大の良いところの一つが、教養科目で情報科学が必修なことだと思う。情報化社会で、就職した後ほぼ確実にパソコンを日常的に使用することになるため、最低限のリテラシーは持つておくに越したことはない。真面目に受講することを勧める。

経済学部

- ・やる気が出ることを見出して少し極めてみるのが大切だと思います。
- ・大学で出会う友人、バイトやサークルの経験は働き出したときにとても貴重なものとなります。

また個人的には大学生活は人生の夏休みだと思っています。時間に余裕があり、挑戦したいことややりたいことができるため、色んなことを経験して社会人になることをオススメします。

- ・授業や研究も大事ですが、それだけが学生生活ではなく社会人になればむしろ、集団での活動であるサークルやアルバイトの経験が生きてきます。今、学生の採用活動に従事していますが集団での活動や積極的な活動ができない学生が増えているように感じますので、大学として規制ではなくある程度の自由度は許容した方がいいと感じています。
- ・失敗を恐れず、少しでも気になることや、やってみようことには積極的にチャレンジすべき。上手くいくことばかりではないし、もちろん失敗することもあるかと思うが、何かしらを得ることはできるし、学生時代に於いては無意味な事なんてないと思う。学生の身分なので、失敗に甘えてもいいと思う。学生時代には時間が沢山ある分、とにかくチャレンジしてみる。そして、広島大学は総合大学なので他学部の人ともたくさん交流しておく、自分の知見も広がるし、卒業してからも多種多様な分野で頑張っている人が居るってことだけでも、自分が頑張れるパワーになっている気がしている。
- ・自分の専門性が直接活きるのはどの業種かよく見極めること。自分が打ち込める分野が何か自己分析すること。
- ・勉強だけでなくバランスよく様々な事を経験してほしい。
- ・本 1000 冊読め。

理学部

- ・職場で多くの人と話していると、学生時代に専攻した分野（卒業研究のテーマ）と今の仕事の内容が一致していない人が殆どでした。自分の幅を広げるために、積極的な教員との交流や、他の学部の学生と繋がるサークル活動、教養に

卒業生から後輩に伝えたいこと

関する学習は大いに勧めたいと思います。また、自分をアウトプットするためのプレゼンテーション技術や発信のための語学学習はしておいて損は無いです。

- ・仕事で使う能力は文章作成能力とプレゼンテーション能力なので、それらの力をもっとつければ良かった。
- ・広島大学では、理系も文系もまたその垣根を超えた様々な学部が揃っており、多くの学生や教員が在籍しているので、自分の学科内だけでなく、部活やサークル、アルバイトなどの課外活動においてさまざまな人と交流してコミュニケーション能力を育てたり見識の幅を広げることができることをすすめたい。また、自身の学習や研究などを通して知識を深め、考える力を育てることができることをすすめたい。
- ・大学は開かれた場所なので、色々なことに挑戦してほしいです。あとちゃんと自主的に勉強してください。
- ・お金のことを学んだ方がいいと思う。

医学部

- ・今ある自由に使える時間を有効活用してください。

歯学部

- ・歯科医師の技術はいやでも身につく（身につけるしかない）ので、語学、パソコン操作、プレゼン能力を大学のうちに身につけることを勧める。また、学生のうちに友人としっかり遊ぶことも大切。
- ・分野は限らず、経験できることはなんでも貪欲に経験すべき。社会に出て思わぬところで役に立つ。大学時代の経験の数や習得した量が多いほど人間的に厚みがあるのが分かる。経済的に必要ないならアルバイトはしなくていい。その時間はもっと別のことに使うべき。
- ・部活動に入るなどして縦・横の交流を持ってお

いた方が学生生活また卒業後も出来る事が増える。

- ・社会人になった時に困らないような礼儀を身につけることが大切だと思います。

薬学部

工学部

- ・勉強も部活サークルもバイトも、何でもいいんで、卒業した後に、人に誇れる、または話せるぐらいまで、何かに打ち込んで欲しい。
- ・大学では、自分にとって親しい人話しやすい人と一緒に過ごしがちでその時間も大切ではあると思うが、全く違う価値観の人や絡みづらい人とも接することができるので、自分に甘えずに色々な意見や考えをぶつけられるように日々を過ごして欲しい。
- ・あらゆるバックグラウンドをもった人が集まる場所なので、なるべく多くの人と知り合いコミュニケーションを取った方が、様々なものの見方・考え方が培われるため、是非勧めたい。大学生活をエンジョイすることも重要だが、大学は沢山の事をハイレベルで学べる非常に有意義な場所であるため、講義は興味を持って真剣に取り組むべきであると思う。社会人になって後悔する。
- ・あらゆる事に好奇心をもって、学んで欲しい。遊ぶにしても、全力でやると価値があると感じている。
- ・アルバイトを通じて労働に対する対価を学ぶ。
- ・アルバイトや海外留学には積極的に挑戦したほうが良いと考えています。ただし、単に「遊ぶためのお金を稼ぐ」や「就活で優位に立てるように」といった浅い目的ではなく、「仕事とは何か」「世界の多様性」を知るために挑戦してほしいと思います。
- ・何が役に立つかわからないから色々触っておくと良い。

- ・単位取得を重視して講義をえらびがちでしたが、もっと広い視野で教養講義を受講していればよかったなと感じます。また、社会人として働きだすと自分に投資する時間が限られてしまうため、大学時代はいろんなことにチャレンジすればよかったなと思います。

生物生産学部

- ・私は苦手なことに目を向ける環境に入り、得意なことに気付き伸ばすことができなかつたと思う。得意なことも伸ばせるような経験ができたら良いと思う。留学生が多いのが特徴だと思うが、積極的に英語で会話をしなかつたのがとてももったいなかつたと思う。英語を学べる環境があるので、積極的に学んで欲しいなと思う。授業の一環で、課題に対しグループで話し合い考えをまとめるものがあつたが、もっと真剣に取り組むべきだつた。社会に出てからも必要なことだと実感したので、そういった学習も大事だとアドバイスしたい。
- ・卒業に必要な単位に限らず、いろいろな授業を受講して、他学部の人とも交流すると良いと思いました。
- ・コロナ禍の影響もあると思いますが、学内外問わずできる限りたくさんの人と関わって知見を広げる機会があるといいと思います。(アルバイト、サークル活動、学校行事など)また、先生方は学生が思っているより学生と関わることを望んでいるんだなと大学院に進んで感じたため、受け身で授業を受けるだけでなく、質問に行ったり自発的に学びに行っておけば良かったなと思いました。